



高島市は2005年1月1日、県の北西部に位置するマキノ町、今津町、朽木

は長く親しまれてきた「近江聖人中江藤樹記念館」を全面的にリニューアルし、高島市内にあった「高島歴史民俗資料館・朽木資料館・マキノ資料館」の機能も引き継ぎました。市の歴史文化を一堂に集め、楽しく学べる博物館として誕生しました。

県内で今、一番新しい博物館はどこでしょう。筆者は、今年6月1日にオープンした「中江藤樹・たかしまミュージアム」（高島市安曇川町上小川）ではないかと思っています。

■ 中江藤樹・たかしまミュージアム（高島市）

市の歴史を立体的に展示



中江藤樹像（藤樹書院蔵）

中江藤樹・たかしまミュージアムの館内＝高島市安曇川町上小川で

村、安曇川町、高島町、新旭町の5町1村が合併してできたまちです。琵琶湖や比良山系の山々などの雄大な自然や水資源に恵まれ、日本海と近畿地方を結ぶ交通の要衝でもあることから、古くから人と物の交流が盛んで、豊かな歴史文化が、中世の武士集団が築いた城郭などにもまつわる歴史、中世の

が育まれてきました。6世紀に築造され、朝鮮半島との交流を物語る豪華な副葬品が多数出土した鴨

稲荷山古墳をはじめとする市内出土の考古資料、「高島七頭」と呼ばれる戦国期の武士集団が築いた城郭などにもまつわる歴史、中世の

社寺文化を物語る仏画・懸仏・古経典、市域に陣屋を設けた大溝藩分部家や村々に伝わった地域の古文書や絵図など、豊富な文化財を駆使して高島の歴史を立体的に展示しています。

さらに、近江聖人中江藤樹とその教えについては特に一室を設けて重点的に紹介しています。「日本陽明学の祖」として慕われ、吉田松陰、西郷隆盛、渋沢栄一ら幕末維新期の志士たちに絶大な精神的影響を与えた中江藤樹の人となりと思

想について、詳しく学ぶことができます。



これまでの「しが旅のススメ」はこちらから

【アクセス情報など】JR湖西線安曇川駅から徒歩18分。高島市コミュニティバス船木線「藤樹記念館前」下車すぐ。開館時間は午前9時～午後4時半。休館日は月曜（祝日の場合は開館し、翌平日が休館）。入館料は高校生以上300円、中学生以下は無料。

（県文化財保護課・井上優）



で最も新しい、注目のたかしまミュージアム＝QRコードにぜひお出かけください。